

## ①津堅島の現況・課題

地域の現況

### ○人口：314人（R3.自治会調べ）

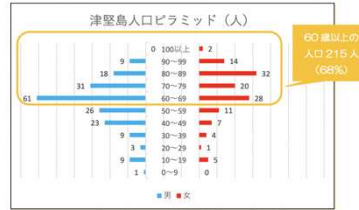
- 高齢化率68%
- うるま市の人口は微増傾向だが、津堅島は過去10年で25%以上の人口が減少
- 子育て世代は若干数のみ

### ○産業

- 基幹産業は第1次産業の農業と漁業
- 農業、林業（38人）：人参の生産が主
- 耕作放棄地の増加
- 漁業（61人）：モズク養殖、タコ、魚の水揚げ
- 第3次産業の就業者数は医療・福祉（15人）が多い
- 卸売・小売業、サービス業も存在
- 島外から通勤する人もいる

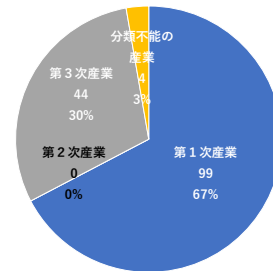
### ○観光

- 観光入込客数14,183人（R2）、95,648人（H21）
- 航路利用者数78,368.5人（R2）、107,096.5人（R1）
- トウマイ浜、ホートウガール等の観光資源が点在



資料：津堅自治会提供

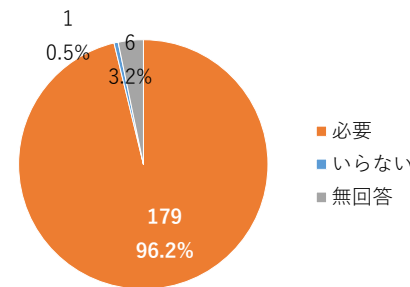
■ 第1次産業 ■ 第2次産業 ■ 第3次産業 ■ 分類不能の産業



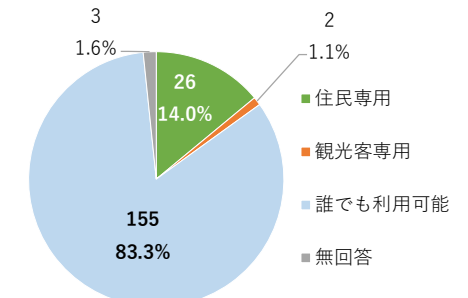
## ②過去の实証運行での実績・地域ニーズ

- 令和元年度はバス方式のキャロバス、令和2年度はタクシー型のキャロタクが実証運行されており、島民にはタクシー方式のキャロタクのほうが好評であった
- 利用意向や導入時に想定される利用頻度もキャロタクのほうが高くなっている
- バス方式の場合は自宅の近くまで入れない地区もあることや、自由に移動できるタクシー型のほうが好評と推察できる
- 移動目的地は島内主要施設や畑となっている

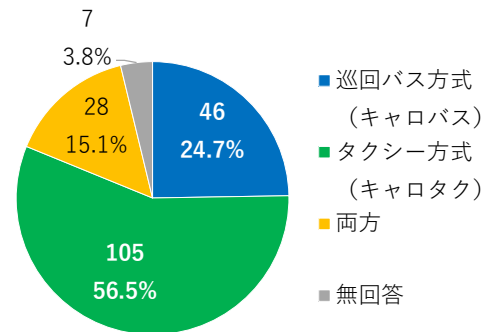
津堅島にバス方式（昨年度実施）または、タクシー方式の電気自動車による島内交通が必要ですか？



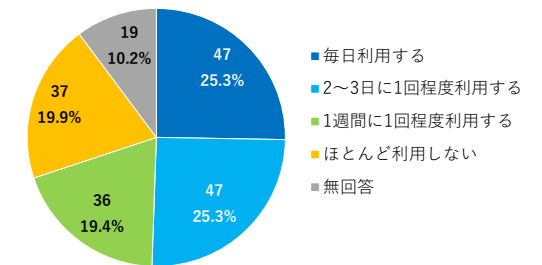
津堅島に必要な交通の役割はどのような形がいいと思いますか？



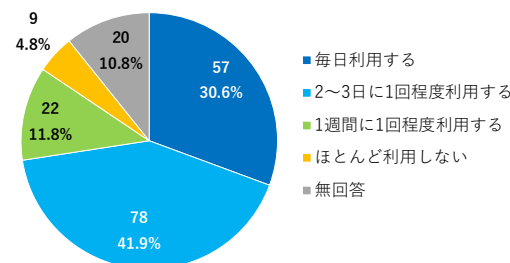
津堅島に必要な交通方法としては、バス方式とタクシー方式のどちらですか？



バス方式が島内で運行された場合、どれくらいの頻度で活用しますか？



タクシー方式が島内で導入された場合、どれくらいの頻度で活用しますか？



12. タクシー方式が島内で運行された場合、主な出発地と目的地はどちらになりますか？

出発地	目的地
家	学校
学校	公民館
北側	職場
公民館	自宅
自宅	商店
島内	港
港	診療所
	畑
	郵便局

上記より、主要地点としては、「自宅・学校・公民館・港・商店・診療所・郵便局・畑」の8つのポイントが考えられる。

津堅島振興計画

### ○基本方針

再び光(活力)を取り戻し、地方創生の“灯台(道しるべ)”となることを目指します

### ○基本目標

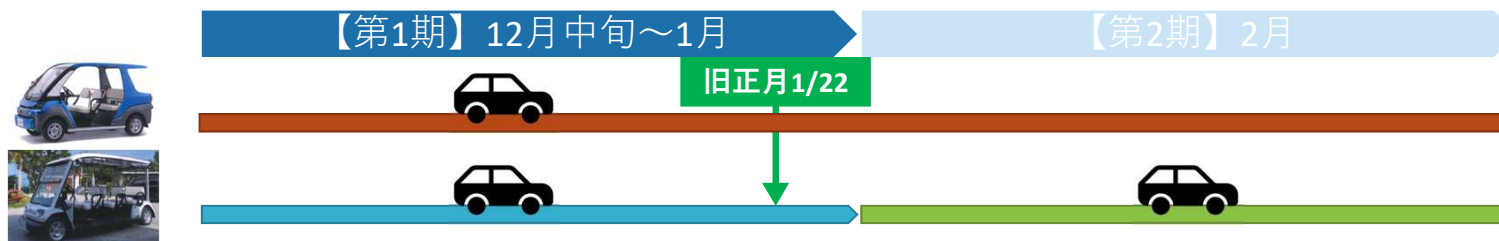
- 基本目標1 移住促進・関係人口の創出
- 基本目標2 雇用の場の維持・創出
- 基本目標3 安心して子育て出来る環境の構築
- 基本目標4 生活環境基盤の充実
- 基本目標5 地域福祉・地域医療の維持・充実
- 基本目標6 島民が誇れる歴史・文化の継承

津堅島の移動に関する問題

- **公共交通が無い**：福祉施設の送迎等を除くと、移動弱者となった島民の移動は、ほぼ徒歩に限定される
- **道路幅員が狭隘**：大型の車両の通行・離合が困難
- **給油所・整備工場が無い**：ガソリンの給油のために、携行缶を本島から持参する必要がある
- **車両通行の安全性**：離島で車両の往来が少ないため、任意保険に未加入の車両など、安全性にやや懸念が存在
- **集落部の高低差**：徒歩や自転車移動に支障となる高低差が存在

## ③新たな交通実証の方向性

- 今回の実証：津堅島の持続的な公共交通手段の確保に向けた実証実験 ※令和元年度・2年度実証：市産EV車両の販売促進のための離島交通モデル(津堅島に限定しない)の構築
- 生活交通については、島民意向を踏まえたタクシー型の運行を中心に検討する
- 観光交通については、実証時期が冬季になることも踏まえ、フェリーの発着時刻に合わせた定時定路線のバス型の運行に加え、島内事業者協力による島内周遊観光・貨客混載などの運行について実証する
- また、津堅島における持続的かつ利便性の高い公共交通体系の調査のため、考えられる移動サービスを幅広く実証し、結果を基に今後の運行方を絞り込む



## ④実証運行計画【第1期】12月中旬～1月末

### タクシー型運行（予約型）

- キャロタクの実証運行内容を参考に、平日毎日（週5日）の運行に集約し、ドライバーの休日確保
- タクシー型運行で小回りが利くように、4人乗り車両で運行

項目	内容	備考
実証期間	令和4年12月16日～令和5年2月28日	12/30～1/3は運休
運行曜日	毎日	計71日間（2月末まで）
運行区域	津堅島全域	
運行方法	フルデマンド方式	
ダイヤ	9:00～15:00	12時台は昼休憩
車両	YG-M（4人乗り）	
予約方法	携帯電話直通＋予約システム	15分前予約（システム30分前）
料金	無料	実証期間中
運行事業者	シルバー人材センター	運行管理を含む
事業法届出	無し	無償のため



YG-M（ナンバー付）  
・4人乗り  
・最高速度：19km/h  
・1充電走行距離  
約40km

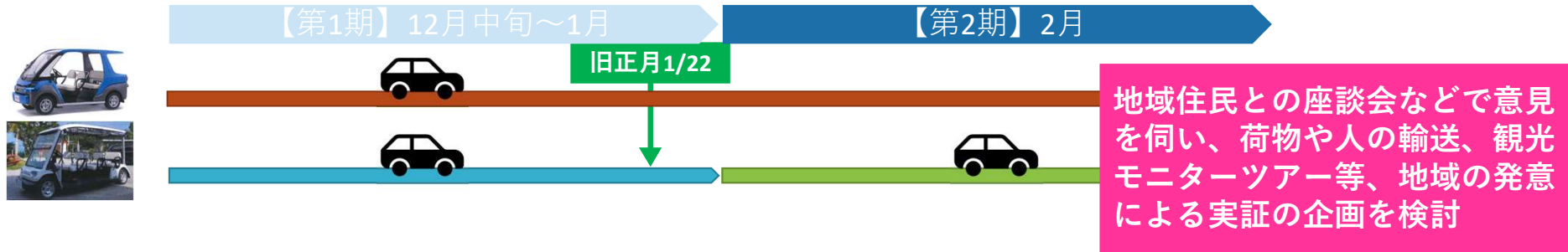
### バス型運行（定時定路線型）

- キャロバスの実証運行内容を参考に、主要施設間を連絡（キャロタクの運行を補間しつつ、観光来訪施設への送迎を主眼として運行）
- 大人数での利用も考慮し、7人乗り車両で運行

項目	内容	備考
実証期間	令和4年12月16日～令和5年1月31日	12/30～1/3は運休
運行曜日	毎日	計43日間
運行区域	島内主要施設循環	
運行方法	路線定期運行	
ダイヤ	固定ダイヤ	
車両	AR-07（7人乗り）	
予約方法	予約なし	
料金	無料	実証期間中
運行事業者	シルバー人材センター	運行管理を含む
事業法届出	無し	無償のため



AR-07（ナンバー付）  
・7人乗り  
・最高速度：19km/h  
・1充電走行距離  
約40km



## ⑤実証運行計画【第2期】12月中旬～1月末

### タクシー型運行（予約型）

- キャロタクの実証運行内容を参考に、平日毎日（週5日）の運行に集約し、ドライバーの休日を確保
- タクシー型運行で小回りが利くように、4人乗り車両で運行

項目	内容	備考
実証期間	令和4年12月16日～令和5年2月28日	12/30～1/3は運休
運行曜日	毎日	計71日間（2月末まで）
運行区域	津堅島全域	
運行方法	フルデマンド方式	
ダイヤ	9:00～15:00	12時台は昼休憩
車両	YG-M（4人乗り）	
予約方法	携帯電話予約システム	15分前予約（システム30分前）
料金	無料	実証期間中
運行事業者	シルバー人材センター	予定
事業法届出	無し	無償のため

第1期から継続



YG-M（ナンバー付）  
 ・4人乗り  
 ・最高速度：19km/h  
 ・1充電走行距離  
 約40km

### バス型運行+α

- 観光利用や貨客混載など、島内公共交通としての持続性確保に向けた、島内事業者の発意による公共交通サービスの運行について実証を行う

項目	内容	備考
実証期間	令和5年2月1日～令和5年2月28日	
運行曜日	未定	
運行区域	島内観光周遊・貨客混載等	
運行方法	路線定期運行	
ダイヤ	未定	
車両	AR-07（7人乗り）	
予約方法	未定	
料金	無料	実証期間中
運行事業者	神谷荘（など。地域と協議）	予定
事業法届出	無し	無償のため



AR-07（ナンバー付）  
 ・7人乗り  
 ・最高速度：19km/h  
 ・1充電走行距離  
 約40km

## ⑥運行路線図



## ⑦指定乗降場の位置

No	施設名	住所
1	津堅港ターミナル	うるま市勝連 津堅
2	津堅公民館	うるま市勝連 津堅27
3	ホートゥガー	うるま市勝連 津堅1276付近
4	津堅小中学校	うるま市勝連 津堅1327-2付近
5	展望台前	うるま市勝連 津堅1575付近
6	津堅公園	うるま市勝連 津堅1544付近
7	神谷荘	うるま市勝連 津堅1472
8	トゥマイ浜	うるま市勝連 津堅2629-1
9	民宿おうち	うるま市勝連 津堅1524付近
10	津堅診療所	うるま市勝連 津堅1582付近
11	簡易郵便局	うるま市勝連 津堅1229付近
12	あずま商店	うるま市勝連 津堅1195付近

## ⑧運行ダイヤ案 (バス型運行<定時定路線>)

平均時速 10km/h

接続	フェリー/高速船				<がに		<がに		<がに		高速船	
	平敷屋港	津堅港	平敷屋港	津堅港	平敷屋港	津堅港	平敷屋港	津堅港	平敷屋港	津堅港	平敷屋港	津堅港
					9:00	11:00	14:00					17:00
					9:30	11:30	14:30					17:15
					↓	↓	↓					↓
	距離 (m)	区間時間 (分)	転回時間 (分)	hh:mm	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1 津堅港ターミナル			0	0:00		9:40		11:40	13:55	14:40	16:25	17:25
2 津堅公民館	400	2	1	0:03	9:00	9:43	11:00	11:43	13:58	14:43	16:28	17:28
3 ホートゥガー	800	5		0:05	9:05	9:48	11:05	11:48	14:03	14:48	16:33	17:33
4 津堅小中学校	450	3	1	0:04	9:09	9:52	11:09	11:52	14:07	14:52	16:37	17:37
5 展望台前	100	1		0:01	9:10	9:53	11:10	11:53	14:08	14:53	16:38	17:38
6 津堅公園	100	1		0:01	9:11	9:54	11:11	11:54	14:09	14:54	16:39	17:39
7 神谷荘	500	3		0:03	9:14	9:57	11:14	11:57	14:12	14:57	16:42	17:42
8 トゥマイ浜	200	1	1	0:02	9:16	9:59	11:16	11:59	14:14	14:59	16:44	17:44
9 民宿おうち	450	3	1	0:04	9:20	10:03	11:20	12:03	14:18	15:03	16:48	17:48
10 津堅診療所	250	2		0:02	9:22	10:05	11:22	12:05	14:20	15:05	16:50	17:50
11 簡易郵便局	150	1		0:01	9:23	10:06	11:23	12:06	14:21	15:06	16:51	17:51
12 あずま商店	150	1		0:01	9:24	10:07	11:24	12:07	14:22	15:07	16:52	17:52
2 津堅公民館	300	2	1	0:03	9:27	10:10	11:27	12:10	14:25	15:10	16:55	17:55
1 津堅港ターミナル	400	2		0:02	9:29		11:29		14:27		16:57	
	4,250	27			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
接続	津堅港	平敷屋港	フェリー/高速船		<がに	<がに	<がに	<がに	高速船			
					10:00	12:00	15:00	17:30				
					10:30	12:30	15:30	17:45				

## ⑨実証実験により目指す目標

- 本実証実験により短期的に目指すアウトプット指標および、本実証を通じて間接的に達成を目指すアウトカム指標を設定する。
- なお、アウトカム指標については、実証期間が短期間であることと、感染症拡大の状況によって津堅島への来訪者数が左右されることから、定性的な目標として定める。

アウトプット指標

### ○バス型運行（キャロバス）利用者数

- 1日あたり12人、1便あたり1.5人の利用を目指す
- 令和元年度実証では、島外客を中心に利用者数を獲得しており、広報の実施により令和元年度と同程度以上の利用を目指す

### ○タクシー型運行（キャロタク）利用者数

- 1日あたり10人の利用を目指す
- 令和2年度実証では、島民を中心に1日10人程度の利用があった。今年度はバス型と同時期の運行であることや、1台運行であることを考慮し、1日10人に定期的に利用される交通を目指す。

アウトカム指標

### ○津堅島への観光来訪者数の増加（周遊目的での来訪者の増加）

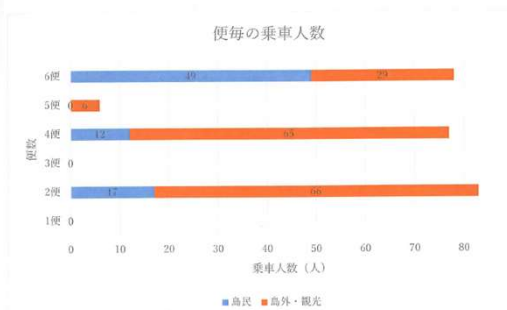
- 新たな交通を導入による津堅島周遊の魅力を発信し、周遊を一つの目的とした観光来訪者の獲得を目指す。

### ○移動に関する満足度の向上

- 島内の移動に関する島民の満足度（島民アンケートにより把握）について、新たな交通の導入により満足度の向上を図る
- ※島民アンケートは11/18頃より実施中。12/2に調査員が訪問し、回収予定

## 令和元年度実証（キャロバス）利用実績

(7) 運行結果

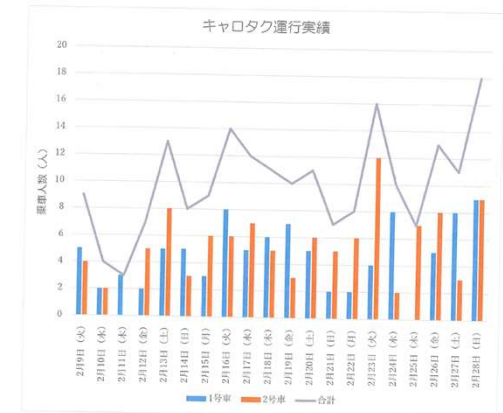


## 令和2年度実証（キャロタク）利用実績

3.2.4 実証実験の結果

### ▼キャロタク運行

使用日	1号車 乗車人数	2号車 乗車人数	合計人数
2月9日	5人	4人	9人
2月10日	2人	2人	4人
2月11日	3人	0人	3人
2月12日	2人	5人	7人
2月13日	5人	8人	13人
2月14日	5人	3人	8人
2月15日	3人	6人	9人
2月16日	8人	6人	14人
2月17日	5人	7人	12人
2月18日	6人	5人	11人
2月19日	7人	3人	10人
2月20日	5人	6人	11人
2月21日	2人	5人	7人
2月22日	2人	6人	8人
2月23日	4人	12人	16人
2月24日	8人	2人	10人
2月25日	0人	7人	7人
2月26日	5人	8人	13人
2月27日	8人	3人	11人
2月28日	9人	9人	18人
合計	94人	107人	201人



- 平日と土日に関係なく利用されている。
- 比較的右肩上がりにて利用数が増えていることがわかる。今回は、コロナ禍における緊急事態宣言中ということもあり、後半に従って緩和していく様子と相関していると考えられる。
- ドライバーからは、毎日利用する島民も3人いたと確認している。